



チュースクにてキャリアナビおすすめ記事を紹介しました！

6月1日(月)に中日新聞に掲載されました『着なくなった服、どうする？名駅で「0円交換会」』という記事に対して、チュースクの中で、キャリアナビ渡邊よりコメントをさせていただきました！
今回のキャリアナビ通信では、世の中のニュースをどんな視点で見るとよいかについてお伝えします。皆さんが社会の出来事にさらに興味をもつきっかけになればと思います。

チュースク記事はこちら



<記事で紹介されていた、「服の交換会」>

「服の交換会」とは、着なくなった服を持ち寄り、他の人が置いていった服を自由に持ち帰れるというイベントで、5月31日(水)～6月13日(木)まで、名古屋駅のタカシマヤゲートタワーモールで行われました。

いらなくなった服



1着持ち込んだら・・・



1着持ち帰れる！



<美しい洋服と深刻な環境汚染>

みなさんは、この3つの事実を知っていますか？(環境省HP SUSTAINABLE FASHIONより)

1990年と2019年を比較すると、衣服の購入量は、横ばいですが、供給量は、約20億着から約35億着と、1.7倍にも増えています。

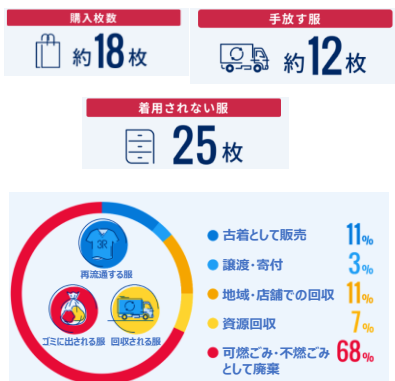


服1着をつくるために、大量のCO₂排出と水の消費がされ、環境に対して大きな負荷がかかります。

※原材料調達から製造までの環境負荷(年間)



1年間1回も着られていない服が、1人あたり25枚もあります。また、服を手放す際は、68%がごみとして廃棄されます。



ここ30年で服の生産量は大きく増えていますが、服1着をつくるのにもたくさんの環境負荷をかけていながら、買われた服の多くは着用されず、最終的に約7割は、廃棄されてしまっていることが分かりますね。

皆さんは、好みや合うサイズが変わったことで着なくなってしまった服はありませんか？その服を捨てるか、どうするか？皆さんの次のアクションひとつで社会や環境を変えることにつながります。

<私たちにできることって？>

これらの環境の問題に対して、私たちにできることは、何でしょう？これから服を買うときに気を付けると良いこと、今着ている服・着なくなってしまった服それぞれに対してできること、一緒に考えてみませんか？

これから服を買うとき・・・

本当に必要かよく考えて買う

長く着られるものを選ぶ



今着ている服を・・・

できるだけ長く着るようにする

直して使い続けられるようにする



着なくなってしまった服を・・・

バザーやフリマアプリで売る

ぞうきんにしたり別の用途で使う



チャレンジ!

他にもできそうなことは、何があると思いますか？書き出してみましょう。周りの友人や、おうちの人とも一緒に考えて、共有してみましょう。



～ ちょっと寄り道 ～

先日実施された、有松絞りまつりで「エコバックづくり」「染め直し体験」が行われていました。

古着のTシャツからトートバッグをつくり、絞り染めをすることで、**捨てられるはずだった服を再利用**できるようにする取り組みです。

地域の伝統である、有松・鳴海絞りの技術を使って、環境問題の解決を目指す取り組みが行われているのって、素敵ですね。

絞り染めされたエコバッグ



チャレンジ!

こんな視点でも見てみよう！！

今回紹介した「服の交換会」では、「誰にとって」、「どんな“いいね！”ポイント」があると思いますか？消費者である私たちだけではなく、地球環境にとって、このイベントを主催する会社にとって、会場を貸している百貨店にとって…様々な立場や視点に立って、“いいね！”ポイントを探してみましょう。

誰にとって？	どんな“いいね”がある？
例) 私たち消費者	例) 0円で新しい服が手に入る、自分が使わない服で誰かが喜んでくれる



キャリアナビ

仕事をするうえでは、「自分」「自分の会社」だけが“いいね！”となっているだけでは、成立しません。お客さんや周りに関わる人・会社にとっての“いいね！”も考えられるようになる必要があり、みんなの“いいね！”が重なることで「仕事」になります。

「服の交換会」を例に、ぜひ、誰のどんな“いいね！”があるか、考えてみましょう♪